

令和4年度
事業報告書

施設名：たかし保育園鎌ヶ谷大仏

令和5年3月31日
社会福祉法人茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

①保育時間

	保育標準時間	保育短時間
平日・土曜	7:00～18:00	8:30～16:30

②特別保育事業

延長保育事業 (平日・土曜)	保育標準時間：18:00～19:00 保育短時間：7:00～8:30 16:30～19:00 ・延長保育利用状況については毎月の報告書参照
-------------------	-----------------------------------------------------------------------------

③クラス体制および利用状況

- めばえ組…0歳児
- ふたば組…1歳児
- わかば組…2歳児
- しげり組…3歳児
- いぶき組…4歳児
- みのり組…5歳児

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	14	16	18	18	18	90
4年4月	8	15	18	18	17	18	94
5年3月	9	16	18	18	18	20	99

④職員体制 (3/31時点) ※ () はパート職員

園長	1名	保高
主任	1名	小野
保育士	15名	佐藤 小川 岡 鈴木 浅川 篠塚 大坪 大沼 川嶋 渡辺 岩佐 八武崎 田所 高島 格和
保育補助	8名	(舟田)(山下)(中尾)(田畑)(中尾)(木下) (東城)(若山)
栄養士	2名	吉元 後藤(育休)
調理員	1名	菅谷 (鈴木)
用務員	0名	
保育支援員	1名	(鈴木)

2. 年間行事実施状況

4月	進級式 慣らし保育
5月	こどもの日の集い 田植え 野菜の苗植え
6月	尿検査
7月	プール開き 歯科健診 歯科指導 夏祭り
8月	内科健診 すいか割り おぼけやしき
9月	お月見の会(クラス毎)
10月	稲刈り おにぎりパーティー 芋掘り
11月	運動会 秋の遠足
12月	総合避難訓練 クリスマス会(クラス毎) 鏡餅づくり
1月	お正月あそび 内科健診
2月	発表会 節分
3月	ひなまつり(クラス毎) お別れ会 卒園式
毎月実施	誕生会(クラス毎) 遊びのぼけっと 避難訓練 身体測定 幼児クラス:体操教室(月2回)
その他	実習生受け入れ

3. 職員研修実績

【外部・キャリアアップ（eラーニング）研修】

月	件数	研修参加者
6月	2件	格和 岩佐
7月	2件	渡辺 浅川 大坪
8月	1件	木下 中尾 舟田 鈴木 山下 前花 若山 東城 田畑 鈴木（た）（eラーニング）
9月	2件	浅川 高島
10月	4件	保高 大沼 大坪 吉元
11月	2件	保高 小野
12月	12件	小野 佐藤 小川 篠塚 川嶋 田所 高島 大坪 浅川 大沼 岩佐 岡
2月	7件	佐藤 小川 川嶋 田所 鈴木（た）保高 岡

【会議実績】

会議名	実施頻度	対象者
職員会議	毎月1回	全職員
乳児会議	毎月1回	園長 主任 乳児クラス担任
幼児会議	毎月1回	園長 主任 幼児クラス担任
給食会議	毎月1回	園長 主任 栄養士 調理師 各クラス担任
給食検討会議	毎月1回	園長 主任 栄養士 調理師
アレルギー会議	毎月1回	栄養士 アレルギー児クラス担任
園内研修	毎月1回	全職員（各グループごと）

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和元年度（自）令4年4月1日（至）令和5年3月31日」参照。

5. 評価および反省

令和4年度も新型コロナウイルスの流行により感染対策に重点をおき、保育を進めていきました。感染対策から前半はクラス単位での活動が中心となりました。後半から感染状況を見ながら異年齢での交流を少しずつ再開し、大きな行事への保護者参加を増やしていきました。保育活動の中でも手をつなぐことや歌をうたうこと、給食での子ども同士の交流の制限を緩和していくことで通常の保育に近づきつつあります。

職員間では、今年度も細かなことでも日々伝達し、声を掛け合い話し合う時間を短くたくさん設けるようにしました。情報を共有することで各クラスの様子や保護者との関りも深まり信頼関係が作られていきました。また、感染症対策にも情報共有することで早めに取り組むことができ、大きく感染症の広がりは見られませんでした。若手職員の育成についても個々との関りを大切にしながら小さなことでも誉め、悩んでいる場面では共に話し合い共有することを繰り返していったことで、自分で解決する力や保育に対して向上心が身についていきました。

今年度は、オンラインやeラーニングでの研修に積極的に参加し個々の保育に対する知識力の向上に努めました。保健衛生や安全管理についての研修を数名受けてもらったことで園内での気づきが増え、安全管理についての意識を高めることができました。また、園内研修では同じ年齢層のグループ研修にしたことで保育についての悩みやクラスで困っていることなどの相談を積極的に伝え合うことができていました。

子どもたちは、恵まれた環境の中、戸外遊びを中心に十分に遊びを楽しみ安定した生活ができました。子ども主体の保育を心がけることで、子どもたちが自信をもって毎日の生活を楽しんでいる様子があり、保護者の方にも写真や文章で発信することで、保護者とのコミュニケーションも取れるようになりました。来年度は、更に子どもまんなか社会を考え保育を進めていきたいと考えます。